

警察庁予算監視・効率化チーム
第5回会合（平成23年2月7日開催）議事要旨

1 日時

平成23年2月7日（月） 午後1時00分から午後1時30分まで

2 場所

警察庁第1会議室

3 議事次第

- (1) 事務局長挨拶（官房長）
- (2) 平成22年度第3四半期における予算監視・効率化の取組状況について
- (3) 予算執行の効率性の向上等に向けた職員からの提案に対する対応について

4 議事要旨

- (1) 事務局長挨拶（官房長）

本日は、第3四半期における予算の執行状況等について、御議論いただくこととしている。チーム会合での活発な議論を通じて、警察庁における予算執行の効率性の一層の向上に努めてまいりたい。

- (2)から(3)まで 事務局説明及び自由討議

事務局から、配布資料に沿って説明した後、意見交換がなされた。意見交換の概要は以下のとおり。

平成23年度警察庁予算（案）で概算要求・要望時と比べて減額となった事項は何か。

1点目は、「犯罪が起きにくい社会づくりの推進」のうち要望枠で要望していた街頭防犯カメラのパイロット事業である。概算要求・要望では、犯罪が多発する全国の主要繁華街等に3か年計画で1,000台の防犯カメラを設置することとし、初年度として9地区分の経費を要求したが、整備地区数を2地区に絞り込み、3億8,600万円減の1億2,100万円の計上となっている。

2点目は、「安全・快適な交通環境実現のための施策の推進」のうち要望枠で14億4,500万円を要望していた「グリーンITSの推進」及び「広域交通管制システムの整備」である。これらについては、事業費のうち2億8,900万円を縮減し、11億5,600万円の計上となっている。

3点目は、「装備資機材・警察施設の整備充実」である。これについては、警察用車両の一部と警察学校、機動隊庁舎等の修繕費の一部（2億3,200万円）が削減されている。

予算執行率が現在30%台のものもいくつか見られるが、最終的な見通しはどう

か。

警察活動基盤整備費のような警察活動の実態に左右されるものは、ある程度の余裕を持っている必要があることから100%近くいくものではない。その他の執行率が低調な施設費や船舶の建設費については、必ずしも100%というところまでは行かないが、必要な予算を消化したというところまでは当然行くものと考えている。

5 結果

本日のチーム会合の結果も踏まえ、第4四半期も引き続き、予算執行の効率性の向上等に努める。